

1. エイチ・ツー・オーリテイリンググループ企業の基本理念

<基本理念>

「地域住民への生活モデルの提供を通して、地域社会になくてはならない存在であり続けること」をグループの基本理念とし、お客様および株主の皆様をはじめ、お取引先、従業員といったステークホルダーの期待にお応えするとともに、社会全体に対し貢献することが企業としての存在意義であると考えています。

<環境対策の推進>

■事業活動で発生する環境負荷（CO2 排出、フードロス、プラスチック排出等）を低減するための環境マネジメントを推進します。

美しい地球環境を未来に引き継いでいくために、気候変動問題への対応は私たちの世代が取り組むべき喫緊の課題です。また、気候変動によって増加、激甚化が予想される自然災害は、当社グループの事業活動にも大きな影響を及ぼします。こうした認識に基づき、脱炭素社会実現への貢献は、当社グループの責務であると捉え、昨年、GHG 削減に向けた中長期目標を設定しました。

目標達成のための具体的な取り組みとして、これまで進めてきた LED 照明への切り替えや冷凍リーチインショーケース・省エネ制御機器の導入などの省エネ推進に加え、再生可能エネルギーの使用も順次拡大していきます。

また、最新の AI 技術を使った空調システムの実証実験を、神戸大学との連携により阪急うめだ本店にて開始しており、今後も協働にてさまざまな取り組みを推進していく予定です。このように気候変動問題へは、社会情勢や技術革新の動向を踏まえながら、引き続き多角的に取り組んでまいります。

中長期目標の設定

脱炭素社会の実現に向けて、中長期の温室効果ガス（GHG）排出削減目標を設定しました。

2030年度 30%削減（2019年度比）※2013年度比 48%削減相当

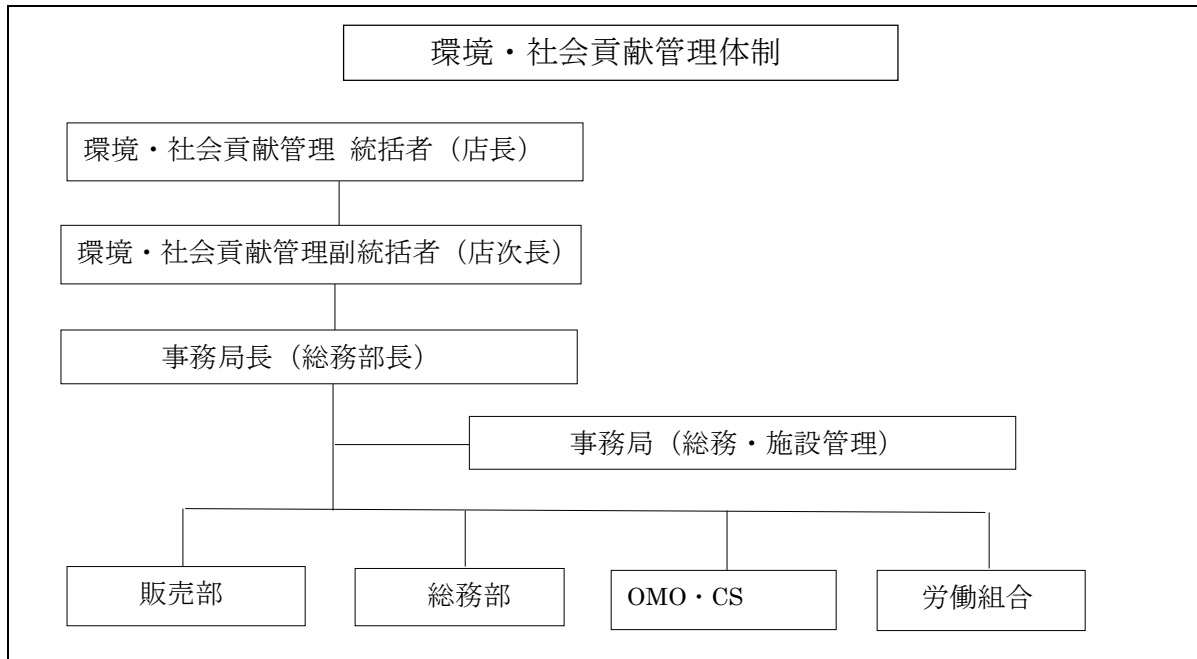
↓

2050年度 ネットゼロ

2. 環境保全に関する組織の現況

株式会社 阪急阪神百貨店 神戸阪急における環境・社会貢献管理体制は図1のとおりである。

図1



3. 当社の活動

株式会社 阪急阪神百貨店 神戸阪急では、エイチ・ツー・オーリテイリンググループの環境方針に基づき、お客さまとともに進める環境・社会貢献活動を具体的に「重点テーマ・取り組み」として設定し、日々の活動の指標としています。

■具体的な環境・社会貢献活動（重点テーマ・取り組み項目）

重点テーマ	取り組み	具体的な活動例
① 社会貢献—地域の「絆」を深める	●地域との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗外周清掃の実施。 ・地域社会と連携した環境保全活動を行います。 ・環境に配慮した商品及びライフスタイルの提案を行います。 ・こども支援
	●社会との共生	<ul style="list-style-type: none"> ・盲導犬育成事業支援 ・自然保護活動を推進 ・途上国支援
② 環境負荷の低減と環境対策の推進	●CO2 排出の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・電力使用量の削減 階段の2UP 3DOWN 適正な室温管理 節電プレートの活用 時間外業務の削減
	●フードロス、プラスチック排出等の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減、リサイクルの向上（ゴミの分別、ハンガー回収）
	●省資源の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・両面コピー、集約印刷 ・節水
	●スマートラッピングの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易包装のお勧めトークの徹底
③ 安全安心のための品質管理の向上	●商品の品質管理を徹底するための体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・店頭商品の定期的な抜き取り細菌検査の実施。 ・外部機関による第三者点検を年2回実施。

4. 計画と対策

(1) 地球温暖化対策に係る計画

① 令和4年度の電気・燃料等の使用量

燃料及び熱	エネルギーの種類		単位	令和4年度					
				使用量		販売副生エネルギー等の量			
						販売された量		自らの生産に 寄与しない量	
				数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ	数値	熱量 GJ
燃料	その他の 燃料	都市ガス	千m ³	184	8,280				
		13A : 45MJ/m ³							
	産業用蒸気		GJ						
	産業用以外の蒸気		GJ						
	温水		GJ						
	冷水		GJ						
	小計		GJ		8,280				
電気	一般電気事業者	昼間買電	千 kWh	5,353					
		夜間買電	千 kWh	1,055					
	その他	上記以外の買電	千 kWh	8,931	149,718				
		自家発電	千 kWh						
	小計		千 kWh/GJ	15,340	149,718				
合計					157,998				
原油換算 kl					4,119				
今年度目標値					4,077				

② 令和4年度の二酸化炭素排出量及び令和5年目標値

二酸化炭素排出量		令和5年度目標値 (前年度比1%減)
電気 :	$15,340,293 \text{ kWh} \div 1,000 \times 0.367 = 5,637 \text{ t-CO}_2$	5,580 t-CO ₂
ガス :	$184,057 \text{ m}^3 \div 1,000 \times 2.245 = 413 \text{ t-CO}_2$	409 t-CO ₂
熱 :	$\text{MJ} \div \times = \text{t-CO}_2$	5,989 t-CO ₂
合計 = 6,050 t-CO ₂		t-CO ₂

③ 使用量目標

	令和 4 年度	令和 5 年度目標	目標比
電気・燃料等使用量 原油換算 (kl)	4,119kl	4,077kl	約 1.0%削減
二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	6,050t-CO ₂	5,989t-CO ₂	約 1.0%削減

④ 目標達成のために講ずる措置・対策

措置の区分	具体的対策
エネルギーの 使用の合理化	係る設備の定期的計測数値の記録と分析
	室内温度管理の適正化
	低消費電力灯具との交換及び不要箇所の消灯
	従業員、テナントへの啓蒙

(2) 地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標、計画

(目標達成年次 2023 年度中)

	分野	項目	
1	館内の節電	電球の間引き・LED化 不要部分の消灯・パソコンの節電 室内温度設定の適正化、空調時間の調整など 業務時間外の事務所送電停止	徹底
2	事業所等での節水	トイレの節水装置の設置	徹底
3	事業所等での廃棄物の適正処理・減量	分別廃棄し、資源ゴミ・段ボールなどリサイクル化へ推進	徹底
		魚腸骨、生ゴミの食品リサイクルの推進	令和 4 年比 100%±0%
		コピー用紙の使用削減	令和 4 年比 100% (-17%)
		ミスコピー用紙の再利用	徹底
4	営業活動における資源有効利用	紙袋・包装紙の削減	令和 4 年比 100% (-23%)
		簡易包装・スマートラッピングのお勧め	徹底
5	事業所等での再生製品等の使用	プリンタトナーカートリッジの再生利用	100%
		コピー用紙、トイレットペーパーの再生紙利用	100%